

12月定例市長記者会見案件（22日開催）

- | | |
|---|---------|
| ①12月市議会臨時会 提出議案について | |
| ・令和7年度12月補正予算の概要 | (財政課) |
| ②不要果樹伐採支援事業の実施について | (環境課) |
| ③「やまがたA I部」への補助実施に係るガバメントクラウドファンディングの実施について | (情報企画課) |
| ④山形駅東口駅前広場バス停のリニューアルについて | (公共交通課) |
| ⑤「SUKSK2万人突破記念！年末年始も歩こうキャンペーン」の実施について | (健康増進課) |
| ⑥SUKSKアプリの新アプリへの移行について | (健康増進課) |
| ⑦蔵王樹氷まつり2026（第61回）の開催について | (観光戦略課) |
| ⑧年末の生活相談、事業者への金融支援について | |
| ・生活困窮に係る「年末生活電話相談」の実施について | (生活支援課) |
| ・年末における事業者金融支援等の実施について | (産業政策課) |

〈添付資料〉

- | | |
|---|---------|
| ①12月市議会臨時会 提出議案について | |
| ・令和7年度12月補正予算の概要 | (財政課) |
| ②不要果樹伐採支援事業の実施について | (環境課) |
| ③「やまがたA I部」への補助実施に係るガバメントクラウドファンディングの実施について | (情報企画課) |
| ④山形駅東口駅前広場バス停のリニューアルについて | (公共交通課) |
| ⑤「SUKSK2万人突破記念！年末年始も歩こうキャンペーン」の実施について | (健康増進課) |
| ⑥SUKSKアプリの新アプリへの移行について | (健康増進課) |
| ⑦蔵王樹氷まつり2026（第61回）の開催について | (観光戦略課) |
| ⑧年末の生活相談、事業者への金融支援について | |
| ・生活困窮に係る「年末生活電話相談」の実施について | (生活支援課) |
| ・年末における事業者金融支援等の実施について | (産業政策課) |

〈資料のみ〉

- | | |
|---|---------------|
| ①野生動物撃退装置「モンスター・ウルフ」実証実験結果について | (農村整備課) |
| ②令和8年 山形市公設地方卸売市場「初市行事」の開催について | (地方卸売市場管理事務所) |
| ③年末年始の業務について | |
| ・年末年始の家庭系ごみ及びし尿の収集について（循環型社会推進課・廃棄物指導課） | |
| ・山形市立病院済生館の年末年始における臨時開院について | (済生館管理課) |

次回 1月定例記者会見 1月 6日（火）14：00～

次々回 臨時会見（当初予算内示） 2月13日（金）15：00～

令和7年度12月補正予算案(第5号)総括表

令和7年12月22日
市長記者会見資料

(単位:千円)

一般会計予算総額 (補正後 113,650,745 対前年同期 109,546,783 比率 103.7%)	738,486	特定財源	738,486	一般財源	-
1 国の「強い経済」を実現する総合経済対策への対応	738,486	1 国庫支出金	699,250		
(1) 子育て世帯への支援 物価高対応子育て応援手当支給事業	663,750 663,750	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金	35,500 663,750		
(2) 生活者支援 福祉暖房費給付事業	74,736 74,736	2 県支出金	39,236		
		福祉暖房費給付事業費補助金	39,236		
		【繰越明許費】			
		会計名	事業数	繰越限度額	
		一般会計	1	33,441	
		合計	1	33,441	
		【会計別総括】			
			補正前	補正額	補正後
		一般会計	112,912,259	738,486	113,650,745
		特別会計	51,075,142	-	51,075,142
		企業会計	42,698,398	-	42,698,398
		全会計	206,685,799	738,486	207,424,285
			対前年同期	203,691,084	
			比率	101.8%	

不要果樹伐採支援事業の実施について【新規】
～柿・栗の木の伐採を補助します！ぜひご活用ください～

今年は、ブナの大凶作の影響等により、県内各地において、餌を求めるクマの市街地への出没が相次いでいます。

こうした中、山形市では、市民の安全・安心を守るため、クマ出没情報メールマガジンの深夜早朝配信や、LINEによる情報発信・注意喚起、緊急銃猟体制の整備など、様々な取組を行っております。

このたび新たに、クマをはじめとする野生鳥獣の市街地等への出没抑制を図るため、個人や町内会等で実施する、柿や栗の木など、野生鳥獣の誘因物となる不要果樹の伐採及び伐採後の処分にかかる費用に対して補助金を交付します。

- | | |
|---------------|--|
| 1 補 助 対 象 | 自治会等または個人 |
| 2 補 助 対 象 木 | 柿樹、栗樹などの果樹 |
| 3 補 助 対 象 経 費 | <ul style="list-style-type: none">・機械等の賃借料、消耗品費、燃料費・作業者への日当・伐採した樹木の処分に係る経費(運搬費を含む)・業者委託に係る経費・その他市長が特に認める経費 |
| 4 申込受付期間 | 令和7年12月17日(水)午前8時30分～ |
| 5 申 込 方 法 | 市役所10階環境課窓口へ申請書類を提出
※電話・郵送での申請は不可。補助金の交付は先着順。 |
| 6 補 助 金 額 | 補助対象経費の3分の2の額(上限額1本あたり2万円) |
| 7 補 助 本 数 | 50本 |
| 8 補 助 要 件 | <ul style="list-style-type: none">・伐採することに当該果樹の所有者の同意がある。・令和8年1月31日までに果樹の伐採が完了するもの。・国、県等の類似の補助金制度等により支援を受けていないもの。 |
| 9 伐 採 の 効 果 | 山寺地区では、地域の方々による野生鳥獣を寄せ付けない環境づくりとして、令和3年度から80本を超える柿の木等の不要果樹伐採を実施しています。
その結果、伐採を実施した場所周辺へのクマの出没は全くみられなくなりました。 |

▼山寺地区での伐採の様子



山形市公式ホームページ▶



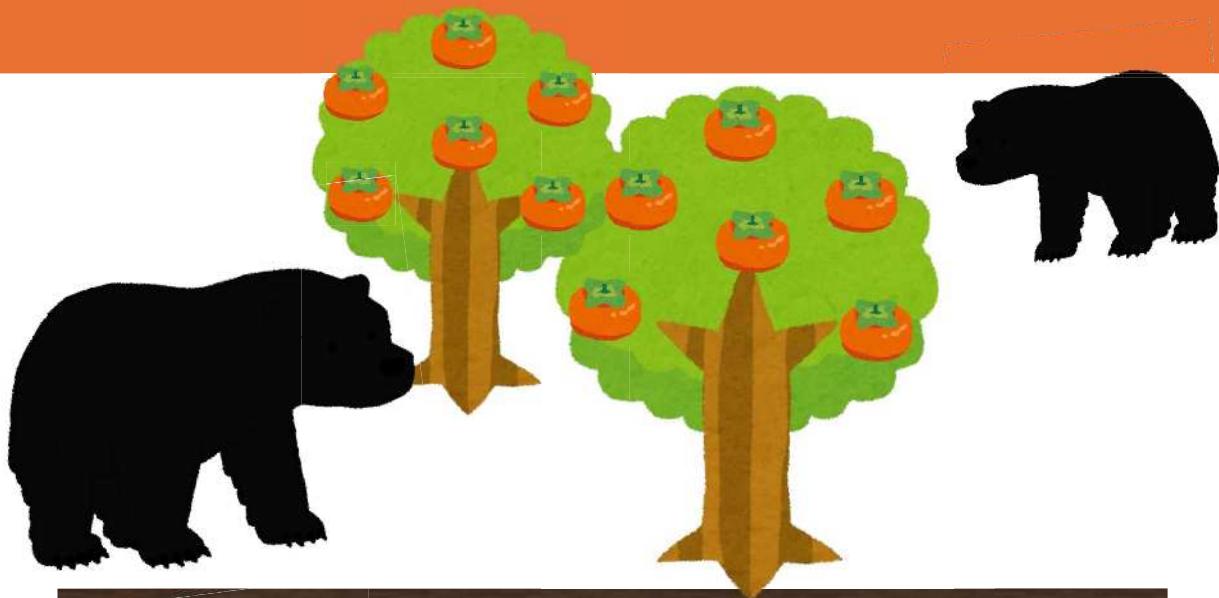
問い合わせ先
環境部 環境課 自然共生係
TEL 023-641-1212 内線683

不要果樹伐採支援事業

クマ対策

柿・栗の木の伐採を

補助します！



放置された柿・栗の木はクマを呼び寄せる誘因物です。

柿の木を伐採した地域では、クマの出没が減少しています。

- 対象者 自治会等または個人
- 対象経費 柿・栗などの果樹の伐採及び伐採後の処分にかかる経費
- 補助金額 対象経費の3分の2（1本あたり上限2万円）
- 受付開始 令和7年12月17日（水）8：30～（先着順）
- 申請方法 山形市役所 10階環境課窓口へ申請書類を提出

※山林や耕作放棄地の果樹の場合、対象にならない場合があります。

※申請は必ず伐採開始前に行ってください。伐採後の申請は補助の対象外です。

詳しくは 山形市環境課 023-641-1212 内線683まで

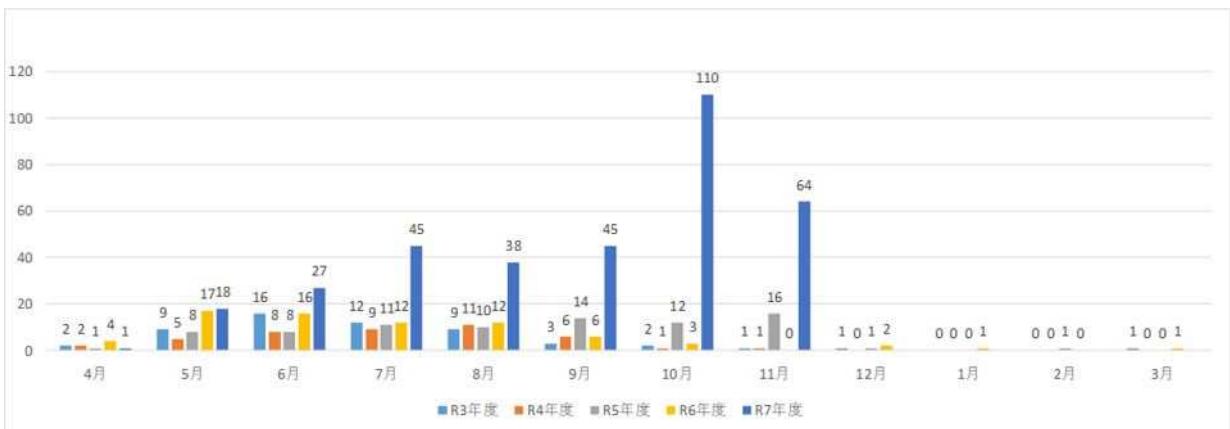


【参考資料】

ツキノワグマへの対応状況等について

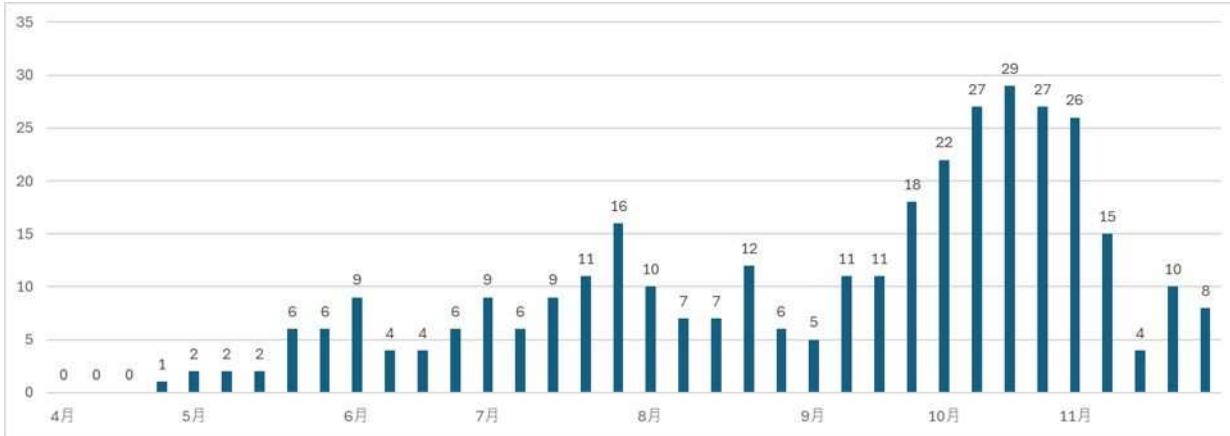
1 クマの出没等状況（令和7年11月末現在）

(1) 年度別・月別出没等件数



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	小計	12月	1月	2月	3月	計
R3年度	2	9	16	12	9	3	2	1	54	1			1	56
R4年度	2	5	8	9	11	6	1	1	43					43
R5年度	1	8	8	11	10	14	12	16	80	1		1		82
R6年度	4	17	16	12	12	6	3		70	2	1		1	74
R7年度	1	18	27	45	38	45	110	64	348					348
R7前年度比	25%	106%	169%	375%	317%	750%	3667%	皆増	497%					470%

(2) 令和7年度 週ごとの出没等件数（4月から11月まで）



【今年の傾向】

- ・令和7年度、出没件数が異常に多い。（前年度比4倍超え）
- ・これまで、夏以降に減少傾向であったが、夏から出没が増加している。
- ・10月だけで昨年度の年間出没件数を超えた。
- ・東部山間部に出没等が多いのは変わらないが、西部での出没等がみられる。
- ・市内中心部を含め市内全域で確認されている。

2 対応の基本的な考え方

市民の命を守ることを最優先に以下の対応を基本とする。

(1) 迅速な情報発信

SNS 等を活用したタイムリーな情報発信

(2) 場面に応じた注意喚起の実施

目撃地付近での広報車による注意喚起

町内会等の協力のもとチラシ等での注意喚起

芋煮会等のイベント場面に即した注意喚起

(3) 危険の除去

クマが居座っている、潜んでいると思われる場合は、追払い、罠の設置、緊急銃猟を検討し危険を除去する。

(4) 緊急銃猟体制の確保

山形獣友会、警察などの関係者と協力体制を整え、市民と捕獲に関わる者の安全に配慮した実施体制を構築しマニュアルを作成した。

3 山形市の取組

市街地での目撃等が増加してきたことから、より多くの市民にタイムリーに出没情報を届けるため、クマ出没情報メールマガジンの深夜早朝配信や LINE による情報発信を 10 月から開始している。

(1) 主な対応（10月以降）

ア 予防的な花火・爆竹による追払い

・休日前の馬見ヶ崎川河川敷、ジャバ周辺、西公園で追払い実施

イ 芋煮客等への注意喚起

・馬見ヶ崎川河川敷、西公園に食べ残し放置禁止の看板設置

・土・日・祝に馬見ヶ崎川河川敷でチラシ配布と声掛け

ウ 施設利用制限

・ジャバ周辺公園、西公園「いも煮広場」の夜間使用禁止

・西公園キャンプ場使用禁止

エ 目撃地付近での注意喚起

・広報車による注意喚起と登下校時の広報パトロール

・注意喚起の「のぼり旗」設置

（山寺・面白山では英語、中国語表記のチラシ掲示）

・町内会の協力を得て注意喚起チラシの配布・回覧

オ 市立小中高等学校の児童生徒を通じた注意喚起

・普段からできるクマ対策チラシ（一般用・児童生徒用）の配布

カ SNS 等での情報発信

・市公式ホームページ、クマ出没状況 map、クマ出没情報メールマガジン、Facebook、LINE で目撃等情報や山に入る際の注意事項、普段からできるクマ対策情報、クマから身を守るために山形市心得十箇条などの注意喚起情報等を発信

キ 鳥獣被害対策専門員の活動

- ・猟友会に所属し、専門的な知見と豊富な経験を有する鳥獣被害対策専門員が、市街地出没時に、追跡や痕跡の確認などを迅速に実施

ク 学校での安全対策

- ・近隣での出没による臨時休業（10／30～31 南山形小学校）
- ・登下校の心配がある家庭には送迎を依頼。事案によっては全家庭へ送迎依頼
※送迎が難しい家庭は自宅待機も可能とし、その場合は出席扱いとする。
登校時間に幅を持たせ、下校時も保護者が迎えに来るまで児童生徒を学校に待機させる。
- ・集団での下校を基本とする。下校時間を早め、できるだけ明るいうちに帰宅させる。

ケ 放課後児童クラブでの対応

- ・学校が臨時休業となった場合、放課後児童クラブは朝から開所
- ・集団下校となりクラブが小学校外にある場合、クラブ職員が見守り
- ・クマが出没した場所とクラブが近い場合、当該クラブを閉所し、他のクラブで受入れ

(2) 人家付近への出没対策

ア クマの移動経路となり得る河川の藪の刈払い

河川管理者である山形県に対し要望し、県が刈払いを実施

馬見ヶ崎川 下宝沢地内（10月）

双月橋下流ほか6か所（11月～）

今後、他の河川の該当個所についても国、県に刈払いを要望していく。

イ クマを誘引する不要果樹の適正管理

不要果樹（柿や栗）伐採に係る費用を支援（不要果樹伐採支援事業）

(3) 山形市鳥獣被害対策実施隊活動によるクマ捕獲状況

（令和7年度は11月末現在）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ツキノワグマ	22	21	24	31	101

・クマ捕獲のための「はこ罠」設置状況（令和7年11月末現在）

9基設置中 ※降雪状況を見ながら隨時撤去

(4) 野生動物撃退装置「モンスターーウルフ」実証実験

今年9月から自動で獣の追払いを行う野生動物撃退装置「モンスターーウルフ」を耕作地に設置し実証実験を行いました。

ア 実証期間 令和7年9月5日から12月4日

イ 実証場所 山形市高瀬地区上東山 通称「背畠(せばたけ)」
耕作物：キャベツ、ブロッコリー

ウ 実証結果

(ア) 効果

- ・センサーカメラには野生動物は映っておらず、定期的に威嚇することによる効果が大きい。
- ・設置箇所近くでは 食害・侵入が確認されておらず、非常に高い効果がある。

(イ) 課題

- ・警戒音が非常に大きい（90dB※）ため、設置場所の選定が難しい。
- ・より広範囲をカバーできるセンサーの導入が必要。
- ・守れる範囲を調査する必要がある。

※電車が通る時のガード下の音量と同等

エ 今後の予定

令和8年度に、山形市鳥獣被害対策協議会で「モンスタークルフ」を購入し本格導入する予定。現行の場所に設置するとともに、新たな設置可能な場所について検討する。

「やまがたA I 部」への補助実施に係る ガバメントクラウドファンディングの実施について【新規】

山形市では、地方のデジタル人材の育成に向け、企業、教育機関、自治体が連携し高校生にA I を学ぶ機会を提供する「やまがたA I 部」^{※1}に参画するとともに、その活動を支援しています。

「やまがたA I 部」では、高校生を対象として、A I に関する先進技術、データサイエンス等を学ぶ機会を提供しており、令和3年から、高校生がA I 技術に関する学習の成果を発表し競い合う「A I 甲子園 in やまがた」^{※2}を開催しています。

令和8年3月20日に開催される第6回大会では、大会の魅力向上と参加する高校生のモチベーションの向上を図るため、新たに、成績優秀校へ副賞として、A I の最先端現場での体験や研修の機会が贈呈されます。

こうした中、山形市では、デジタル人材の育成を一層推進するため、ガバメントクラウドファンディング（GCF）^{※3}を活用した寄附を原資として、同団体の取組を補助します。

12月23日(火)よりGCFの募集を開始しますので、高校生が先端技術の現場に触れる機会を創出し、未来を担う若い世代の学びと挑戦を後押しするため、ご支援いただきますようお願いします。

※1 やまがたA I 部

県内の企業・教育機関・自治体が共同で構成するコンソーシアムによる、デジタル人材育成プロジェクトです。令和2年に活動を開始し、高校生を対象に、放課後の部活動形式でA I ・データサイエンス等の先進技術を学ぶ場を提供しています。

※2 A I 甲子園 in やまがた

高校生が、やまがたA I 部で学んだ成果を発表し競い合う大会として、やまがたA I 部運営コンソーシアムの主催により、令和3年3月から毎年山形市内で開催されています。

※3 ガバメントクラウドファンディング及びGCFは、株式会社トラストバンクの登録商標です。

1 対象

寄付者：個人・企業・団体（市内外を問いません）

2 寄附募集期間

令和7年12月23日（火）～令和8年2月28日（土）まで（68日間）

3 目標金額

4,000,000円

4 寄附の方法

GCFサイトからお申し込みいただけます。

ウェブサイト上で、申込から決済（クレジットカード等）まで完結します。

寄附は2,000円以上から可能です。

※GCFサイト：<https://www.furusato-tax.jp/gcf/5116>

12月23日午前9時から公開予定



5 募集方式

ALL-in方式

※寄附総額が目標金額に達しない場合でも、集まった寄附金を受け取る方式

6 寄附金の使い道

寄附金を原資として、やまがたA I部が実施する以下の事業に対し補助を行います。

「A I 甲子園 in やまがた」における副賞贈呈

やまがたA I部では、令和8年3月20日（金）に「A I 甲子園 in やまがた」を開催し、成績優秀校へ副賞として、A Iの最先端現場での体験や研修の機会を贈呈します。

7 返礼品

返礼品はございません。

8 その他

本事業によるGCFでの寄附は、ふるさと納税と同様に寄附金控除の対象となります。

問い合わせ先

企画調整部 情報企画課 DX推進係

TEL 023-641-1212 内876

GCF サイト掲載イメージ

ふるさとチョイスGCF

プロジェクトをさがす 捐贈額 24,461,420,473 円 ふるさと納税ガイド お気に入り 寄付する

プロジェクトをさがす 応援メッセージ GCFとは ふるさとチョイス 捐寄支援

TOP > 受付中プロジェクト > 「AI甲子園 in やまがた」で、高校生の学習を支援したい！

「AI甲子園 in やまがた」で、高校生の学習を支援したい！

カテゴリー: 子ども・教育

寄付金額 0円
0%
目標金額: 4,000,000円

達成率 0% 支援人数 0人 終了まで 75日 / 68日

山形県山形市(やまがたけん やまがたし)
お気に入り

ふるさと納税で応援

対応している決済方法

寄付募集期間: 2025年12月23日～2026年2月28日(68日間)

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

はじめての方へ ふるさと納税とは

誰もが簡単にふるさと納税できるよう、寄付の仕方や税金控除など仕組みを紹介しています。

76万点以上のお礼の品を紹介する「地図版No.1※」のふるさと納税総合サイトです。
※ 日本マーケティングリサーチ機構調べ 調査概要: 2024年10月28日時点 大手ふるさと納税ポータルサイト4社対象の市場調査

よくある質問 ふるさと納税制度や寄付の方法、さらにサイトの利用方法まで、あなたの疑問を解決します。

やまがたAI部とは

やまがたAI部は、山形県内の企業・教育機関・自治体がコンソーシアムを構成し、AI教育を通じたデジタル人材育成プロジェクトです。

令和2年8月に活動を開始し、山形県内をはじめとした多くの高校生が参加しており、AIに関する先進技術やデータサイエンスを学ぶ機会を提供しています。

「AI甲子園 in やまがた」とは

「AI甲子園 in やまがた」は、令和3年より「やまがたAI部」が開催している、高校生がAI技術に関する学習の成果を発表し競い合う場です。

AI甲子園では、競技テーマと探求テーマの2つの分野で高校生たちが競い合います。

競技テーマでは、画像認識の精度を向上させる競技として、将棋の局面を読み取り、盤上と駒台の駒数を数えて精度を競います。探求テーマでは、各校が自由に課題を設定し、身近な問題にAIを取り入れることで、課題解決を図るアイデアを発表します。

昨年度の大会では、山形の高校生はもとより、県外や台湾からの参加もあり、高校生がAIを活用した課題解決に果敢に挑戦し、非常に高い水準の発表が行われました。

【過去の発表事例】

- ・山形市立商業高等学校 「～食堂を救え！～ AIを活用した売り上げ向上」
- ・鹿児島情報高等学校 「飲食店の来客予想AI」
- ・福岡女子商業高等学校 「学生のミカタ AI要約くん」
- ・酒田光陵高等学校 「FAQAI ひかりくん」
- ・仙台高等専門学校 「お着替え管理をサポート！保育士さんの味方 されコレ」

やまがたAI部からのメッセージ

AI甲子園のその先へ、高校生を世界へつなぐ挑戦

やまがたAI部では、地域の高校生がAIに挑戦できる環境を整えてきました。AI甲子園には山形だけでなく全国や海外の高校生も参加し、毎年多くの出会いが生まれています。今回のご支援は、この出会いを一過性に終わらせず、互いに学び合う交流へ育てていく取り組みに活用します。

AI甲子園で優秀な成績を収めた高校から生徒3名程度と引率教員が参加し、数名のチームで現地を訪問します。企業や高校を訪れ、AIが社会でどのように活用されているかを直接学びます。また海外からも成績優秀校の生徒3名と引率教員を山形に迎え、市内企業の見学や高校生同士の交流会、意見交換のワークショップなどを行います。これらのプログラムは、やまがたAI部事務局を中心に、地域企業のコーチや学校関係者が協力し、訪問先の調整から交流内容の設計まで連携して準備を進めます。活動の舞台となるのは、海外の企業・学校、そして山形市内の企業や公共施設です。

海外での学びを地域に持ち帰り、若者同士が新たな価値を生み出していく。その循環をつくることを目指しています。

本プロジェクトにより、山形は「海外の実例に触れながらAIを学ぶ地域」へと一歩進んでいきます。AI甲子園を通じて全国や海外の高校生が交流しており、今回の取組によって、山形の高校生が海外の教育現場や企業に触れる機会が生まれ、地域にいながら国際的な視点に触れられる環境を整えたいと考えています。



寄附金の使い道

「AI甲子園 in やまがた」での成績優秀校へ贈る副賞への補助金として、最先端の現場体験や研修の機会創出に使用します。

【目標金額に達しなかった場合の寄附金の取扱い】

今回のプロジェクトは、ALL-in方式を採用し、寄附総額が目標金額に達しない場合でも、集まった寄附金を受け取る方針とします。目標金額に達しなかった場合は、人数、日程、訪問先等を調整し、実施規模を見直したうえで、本プロジェクトとして可能な範囲で実施します。

寄附者のみなさまへ

本プロジェクトに、ご关心をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

山形市では、AIを学ぶ若者の学習を応援したいという想いのもと、やまがたAI部への支援を続けてまいりました。

この度のガバメントクラウドファンディングは、その学びをさらに発展させる大切な一歩と考えています。

高校生の未来を支え、地域の可能性を広げる本取組に、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

寄附金控除について

個人・企業・団体が寄附を行った場合、所定の手続きを行うことで税額控除を受けることができます。

■個人の場合

寄附金額のうち2,000円を超えた金額について、所得税・個人住民税の寄附金控除の適用を受けることができます。

収入や扶養親族などに応じた控除額の上限があります。

■企業・団体(法人)の場合

原則、寄附金の全額を損金算入できます。

ふるさと納税で応援

山形駅東口駅前広場バス停のリニューアルについて

山形市では、バス待合環境を改善し利用者の利便性向上を図るため、令和6年度から、市内の主要なバス停において、バスの運行情報を発信するデジタルサイネージやバス停の上屋などの整備を進めています。

このたび、山形駅東口駅前広場バス停を整備し、下記のとおり供用を開始します。

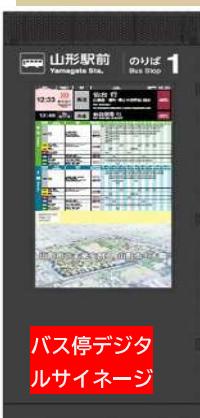
1 供用開始日時

令和7年12月26日（金）の始発から

2 整備の内容

- (1) 各乗り場に、バス運行情報を表示するデジタルサイネージを6基新設
- (2) 5番乗り場に、総合案内機能を備えたデジタルサイネージを1基新設
- (3) 2番乗り場（ベニちゃんバス乗り場）に上屋を新設
- (4) 1番乗り場に整列ラインを新設、2番・5番乗り場の整列ラインを改修
- (5) 各乗り場のバス停上屋の案内看板を改修
- (6) 山形駅自由通路に、東口バス停への案内サインを新設

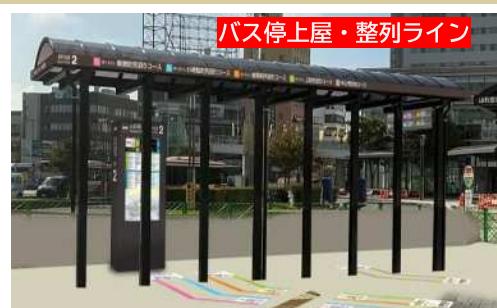
3 整備イメージ図（山形駅東口）



バス停デジタルサイネージ



総合案内デジタルサイネージ



- ◎複数の交通事業者のバス接近情報や時刻表などを分かりやすく表示
- ◎接近情報を音声案内によりお知らせ
- ◎多言語表示（英語、中国語、韓国語）
- ◎スマートフォンによる閲覧機能

4 令和6年度に整備したバス停等

(1) 山形駅西口

(デジタルサイネージ 3基)



(2) 道の駅やまがた蔵王

(デジタルサイネージ1基、待合所1基)



(3) 山形市役所前

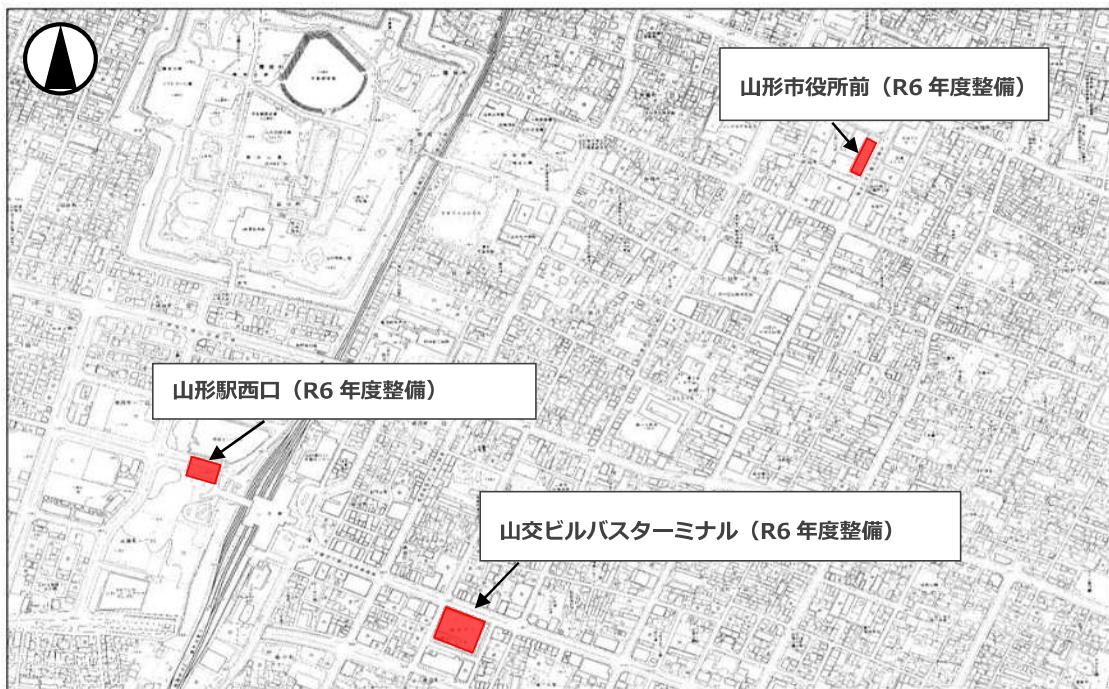
(バス待合所リノベーション、総合案内デジタルサイネージ1基)



(4) 山交ビルバスターミナル (案内看板の改修)



5 令和6年度整備バス停等の位置図



問い合わせ先
企画調整部公共交通課交通結節点係
TEL023-641-1212 内438

「SUKSK 2万人突破記念！年末年始も歩こうキャンペーン」の実施について

令和元年9月より開始した健康ポイント事業SUKSKは、令和7年12月に累計登録者数が2万人を突破しました。これは18歳以上の山形市民の約1割にあたり、全国の同様の事業と比べトップレベルの普及状況であるとともに、目標時期よりも半年ほど早いペースでの達成となります。

一方、市保健所シンクタンクの分析により、男性に比べ女性の歩数が少ないことや、1年の中でも1月と8月の歩数が少ないとなど、一定の課題も見えてきました。

そこで、2万人突破記念と、家に籠り運動不足になりがちな年末年始における歩行促進のため、「SUKSK 2万人突破記念！年末年始も歩こうキャンペーン」を実施します。

1 対象期間

令和7年12月27日（土）から令和8年1月10日（土）までの15日間

2 達成特典及び達成条件

次の3つの条件を全て満たした方の中から、抽選で200名に500円分のデジタルギフトをプレゼント

【条件】

- (1)SUKSKアプリ（健康マイレージ）をスマートフォンにダウンロードし登録
- (2)対象期間内にアプリを携帯し6,500歩/日を10日以上歩く（エントリー不要）
- (3)令和8年1月18日（日）までにアプリで歩数送信を完了する

3 参考（SUKSK累計登録者数推移）



忙しい毎日でも取り組めるウォーキング 歩くことで健康を手に入れよう!



山形市では、スマホアプリを用いた健康づくり事業「山形市健康ポイント事業SUKSK」における登録者の歩数データを分析しました。

分析結果



※分析対象:2023年のデータにおいて、月に1日以上の歩数データがあり、かつ月の平均歩数が100歩未満または50,000歩以上の者を除いたもの。

- 年間を通じて、年齢に関わらず、女性の歩数が男性より少ないことがわかりました。
- 厚生労働省では、1日の歩数の目標値を20~64歳は8,000歩、65歳以上は6,000歩と定めています。「65歳以上の男性」は国の目標値を上回っていますが、「65歳以上の女性」「20~64歳の男性」「20~64歳の女性」はいずれも国の目標値に達していませんでした。
- 特に、「20~64歳の女性」の歩数は、国の目標値から年間を通じて3割以上乖離していました。
- 年間において、年齢や性別に関わらず、8月と1月に歩数が低下している傾向が見られました。

Q なぜウォーキングがいいの?

A ウォーキングは、長時間継続して運動ができる有酸素運動です。

1. 生活習慣病の予防

血糖値や血圧を下げる効果やHDLコレステロールを増加させるなど、メタボリックシンドロームのリスクを低下させます。

2. 心肺機能の向上

運動習慣を持つことで、全身持久力や筋力といった体力維持・向上につながります。

3. 肥満を防ぐ

身体活動量の増加や習慣的な有酸素運動により、エネルギー消費量が増加し、腹囲や体重が減少します。

4. ストレス解消

気分転換やストレス解消につながることで、メンタルヘルス不調の予防に効果的です。

裏面には明日から歩行時間+10分を達成するためにつながる取り組みを紹介しています。

(厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準2013」(平成25年3月)より)

まずは「いつものライフスタイルに+10分歩くこと」を心がけて、歩数を増やしてみましょう。

自分の歩数を確認してみよう！

☑ 健康づくりの第一歩！ まずは自分の歩数を確認してみましょう！

あなたは1日どのくらい歩いていますか？
お使いのスマートフォンや SUKSK アプリを活用して、
まずは、現在の歩数を確認してみましょう。



10分歩くと
約1,000歩に
なるベニ

目標

毎日、いつものプラス10分歩いてみましょう！

☑ 楽しみながら歩こう！『山形市健康ポイント事業 SUKSK』

山形市では楽しみながら健康づくりに取り組める「山形市健康ポイント事業 SUKSK」を提供しています！

- ・歩数や健康講座、イベントに参加してポイントをゲット！一定のポイントがたまると抽選に参加！
- ・記念品が当たるチャンス！

毎月第3土・日曜日はポイントアップデー！
8,000歩達成で通常の5倍のポイントが獲得できます。

ポイントアップデー

毎月第3日曜日とその前日の土曜日は

ポイントアップデー

★1日8,000歩以上歩いた方に
通常100ポイントのところ500ポイント付与！！

※アップした分のポイントは翌月上旬に加算されます。 SUKSK



詳しくは SUKSK 公式
ホームページへ

☑ 忙しい人も大丈夫！日常の工夫で歩数アップ！

「忙しくて歩く時間が取れない…」「なかなか続かない…」
そんな方でも、ちょっとした工夫で無理なく歩数を増やせます。

いつもと違う通勤ルートを使って、**行き帰りで5分ずつ遠回り**をしてみる。

駅では**エスカレーター**より**階段**を活用！
歩幅を広く、**早歩き**を意識する。

お昼休みはランチや買い物を兼ねてウォーキング
エレベーターを避け、階段でちょっとした運動をプラス

買い物やお出かけの際に、**少し遠回り**をして歩く
公園や観光地を散策しながら、**楽しく歩数アップ**！



できることから
はじめるベニ！

少しの運動の積み重ねでも
効果があります！



SUKSKアプリの新アプリへの移行について

健康ポイント事業SUKSKでは、SUKSKアプリとして、NTTドコモビジネス株式会社の「健康マイレージ」アプリを導入しています。

このたび、同社にて、機能改善や新機能追加の上、新たなアプリにサービスが移行されることとなりました。

令和8年2月1日より新アプリでのサービス提供を開始します。現在SUKSKアプリを利用している方は、令和8年3月末までに確実に移行手続きをお願いいたします。

1 新アプリ名称

けんこうマイレージ



新アプリ
ホーム画面
イメージ



2 移行期間

令和8年2月1日（日）から令和8年3月31日（火）まで

3 移行方法

(1) 令和8年1月31日までにSUKSKアプリを登録済の方

令和8年2月1日より現アプリ画面上に掲出される移行バナーから手続きを行ってください（1分程度で簡単に移行できます）。

(2) 令和8年2月1日以降にSUKSKアプリを新規登録する方

山形市専用のURL又は二次元コード（市公式HP等に掲載予定）から新アプリをダウンロードし登録してください。

4 新アプリの主な変更点

(1) 歩数送信不要で歩数が自動反映

現行アプリでは、歩数を確認するには歩数送信ボタンを押す必要がありました。新アプリでは歩数送信が不要となり、アプリを開くと最新の歩数が確認できます。

(2) 画面デザインや使いやすさが向上

UI（ユーザーインターフェース）デザイン改善により、高齢者にも配慮したカラースキームやコントラストで、より見やすく、使いやすくなります。

(3) 現機能の改善や新機能の追加

これまで1回しか挑戦できなかったアプリのウォーキングコースが、何度も挑戦可能になりました。さらに、家族や大切な人とつながり、お互いの歩数を見ることができるフレンド機能が新たに追加されます。

(4) AI健康アドバイスが標準機能として搭載

令和7年2月から提供を開始した「AI健康アドバイス」を利用するには、現行は別のアプリの追加ダウンロードが必要ですが、新アプリには標準機能として搭載されます。

5 新アプリ移行に向けた周知

- ・ 山形市公式ホームページ及び広報やまがた等各種媒体での情報発信
- ・ 高齢者等への新アプリ移行サポート会の開催
- ・ 新アプリ早期移行キャンペーンの開催

6 その他

令和8年3月31日までに現アプリから移行した場合は歩数やポイントを引き継ぎますが、令和8年4月1日以降は、新アプリの新規登録のみになり、歩数やポイントは引き継げません。

問い合わせ先
健康医療部健康増進課 S U K S K 推進係
TEL 023-616-7271

令和7年12月22日

市長記者会見資料

蔵王樹氷まつり 2026(第61回)の開催について

今年も樹氷の見ごろにあわせて、「蔵王樹氷まつり」を開催し、様々な催しを行います。
ぜひ蔵王にお越しいただき、山形市が世界に誇る蔵王の樹氷と温泉、蔵王温泉スキー場を存分にお楽し
みください。

1 開催期間

令和7年12月27日(土)～令和8年2月23日(月・祝)

2 イベント内容

○松明滑走&冬のHANABI

日 時 令和8年2月7日(土) 17:00～受付 20:00～スタート

会 場 上の台ゲレンデ

参加料 3,000円(参加協賛金。保険料含む。)

申 込 特設サイトからのWEB申込 ※申込フォーム受付中。枠が埋まり次第終了

○冬の働く車大集合!

スキー場ならでは、冬ならではの働く車(圧雪車・スノーモービル等)を展示します。

さらに、この2日間は中学生以下リフト料金が1,000円に!

日時・会場 令和8年1月25日(日) 10:00～15:00 上の台ゲレンデ

令和8年2月23日(月・祝) 10:00～15:00 大森ゲレンデ

○樹氷ライトアップ観賞

期 間 令和7年12月27日(土)～令和8年2月22日(日)の期間中、特定日開催 合計36日間

時 間 17:00～21:00(上り最終受付時間19:50)

ロープウェイ往復運賃 お一人様大人4,400円、子ども2,200円

※悪天候の場合は、ロープウェイが運休することがあります。

【詳細問合せ先】蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅(023-694-9518)

○ナイトクルーザー号樹氷幻想回廊ツアー

期 間 「樹氷ライトアップ観賞」期間と同日程

時 間 17時・18時・19時・20時出発(出発20分前に蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅集合)

ナイトクルーザー号料金 お一人様大人7,500円、子ども6,000円

※予約サイトより予約が必要です。

※悪天候の場合は、ロープウェイが運休することがあります。

【詳細問合せ先】蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅(023-694-9518)

○湯気あかり

期 間:令和7年12月27日(土)～令和8年2月23日(月・祝)

場 所:どんどんびき、共同浴場3カ所をLED照明でライトアップ。

○キッズスノーパーク

期 間:設置後(積雪状況による)～令和8年2月23日(月・祝)予定

場 所:大森、中森、上の台(サンライズ)にキッズスペースを設置

※十分な積雪があり次第、設営を行い開始



3 主催

蔵王樹氷まつり協議会

4 お問い合わせ

蔵王温泉観光協会案内所 TEL:023-694-9328

山形市観光協会 TEL:023-647-2266

蔵王樹氷まつり

インフォメーション

担当: 山形市商工観光部 観光戦略課 誘客推進係

TEL: 023-641-1212 (内線424)

藏王
樹氷まつり
2026
—第61回—



世界に誇る蔵王の樹氷・
蔵王温泉スキー場を
存分にお楽しみください!

期間 2025.12.27(土)～
2026.2.23(月・祝)

01 松明滑走&冬のHANABI

蔵王温泉名物「松明滑走」にみんなで参加しよう!
同時間開催、「冬のHANABI」もお楽しみください。
日時 2026.2.7(土) 17:00～受付 20:00～スタート
場所 上の台ゲレンデ

02 冬の働く車大集合!

1.25(日)
上の台会場では、
「山形工業高等専門学校
雪上ミニ四輪体験会」も
開催予定
※天候等により中止となる
場合があります。
日時 2026.1.25(日)10:00～15:00 場所 上の台ゲレンデ
日時 2026.2.23(月・祝)10:00～15:00 場所 大森ゲレンデ

03 冬の蔵王開運回遊

蔵王温泉スキー場の
パワースポットを巡って開運!
期間 2025.12.27(土)～2026.2.23(月・祝)

04 湯気あかり

どんどんびき、共同浴場3か所をLED照明で
ライトアップ!
期間 2025.12.27(土)～2026.2.23(月・祝)

05 キッズスノーパーク

大森ゲレンデ、中森ゲレンデ、上の台(サンライズ)に
キッズスペース設置!(予定)

詳しくはこちらの公式ホームページ
二次元コードからアクセス!

ZAO
2025-2026

世界に誇る樹氷の造形美と、蔵王連峰を見渡す絶景の大パノラマ。

雪質抜群のパウダースノーで楽しめる変化に富んだゲレンデ・コース、そして夜は幻想的な
雰囲気で包まれる樹氷ライトアップ。東北最大級のスノーリゾートエリアで、一日中遊びを満喫。

女子スキージャンプ
ワールドカップ蔵王大会
会場
アリオントック蔵王シャンツエ
(山形市蔵王ジャンプ台)
期日
2026.1.20(火)・21(水)

樹氷
観賞

蔵王連峰の特殊な気象条件と
植生がつくり出す、世界でも
類を見ない氷と雪の芸術品。



01 樹氷ライトアップ *

合計
36日間
開催!

漆黒の闇の中にカラー照明で浮びあがる樹氷の姿…
まるで幻想世界に迷い込んだ雰囲気です。

日時 2025.12.27(土)～2026.2.22(日)

期間中の特定日開催 ※天候等により中止となる場合があります。
17:00～21:00(蔵王山麓駅上り最終19:50)
地蔵山頂駅下り最終20:45)

料金 おとな 4,400円 こども 2,200円
問合 蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅
TEL 023-694-9518

樹氷ライトアップ&樹氷幻想回廊 ツアー開催日

12 2025

日 月 火 水 木 金 土
25 26 27
28 29 30 31

02 2026

日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28

01 2026

日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28

● 「樹氷ライトアップ」「樹氷幻想回廊」
ツアーアイコン開催

02 ナイトクルーザー号で行く
「樹氷幻想回廊」ツアー*

漆黒の闇の中にカラー照明で浮びあがる樹氷の姿…
ナイトクルーザー号に乗車し間近で体験。

日時 樹氷ライトアップと同日程合計36日間

蔵王山麓駅発着時間 / 17:00、18:00、19:00、20:00
料金 おとな 7,500円 こども 6,000円
※予約サイトより事前予約が必要です。

※天候等により中止となる場合があります。
問合 蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅 TEL 023-694-9518

03 デイライト樹氷*

360°広大な樹氷原 大パノラマを一望!ゆったり快適に
ロープウェイで樹氷原へGO!

日時 12月下旬～2月下旬頃(樹氷形成時期)
8:30～17:00(ロープウェイ運行時間)

料金 おとな 4,400円 こども 2,200円
問合 蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅
TEL 023-694-9518



詳しくはこちら

スノートレッキング&ツアー



蔵王山岳インストラクターがご案内
「かんじきトレッキング」や「冬のお金鑑賞ツアー」
お客様のご要望に沿った形でのオーダーメイド
トレッキングモード。

問合 蔵王温泉観光協会案内所
TEL 023-694-9328 FAX 023-694-9327

スノーハイクスキーツアー

蔵王山岳インストラクターさん同行!!
スノーハイクスキーで巡る
BEAUTIFUL ZAO.
WINTER SUPERB VIEW

スキーを履いたことがない方・初心者
の方でも簡単に体験できるスノーハイ
クスキーを履いて一度は訪れたれ蔵王
の絶景霧氷を訪ねよう!

期間 2025.12.22(月)～2026.3.30(月)
月・水・金
新規開
2時間30分(午前の部9:00～11:30、
午後の部13:00～15:30)

(降雪状況等により設定日・曜日が変更となる場合が
ございます。右記ご入次コードにて確認願います。)

料金 お一人様14,000円～24,000円
(ご参加人数により)
集合 蔵王ベースセンタージュビア1階
実施 (株)DMC蔵王温泉ツーリズムコミティ
詳しくはこちら

「ゲレンデサービス」

スキーこどもの日
中学生以下の子様に限り、
全山共通1日券が1,000円に!
期日 2026.1.17(土)・18(日)・24(土)・25(日)、2.11(水・祝)・23(月・祝)
3.7(土)・8(日)・14(土)・15(日)・20(金・祝)・21(土)・22(日)・28(土)・29(日)

感謝の贈り物

200Yen

リフトシニア券(60歳以上)購入者に
200円コーヒー券をプレゼント。

第4回
ZAO スノースポーツフェスティバル

日時 2026.2.28(土)10:00～15:00
場所 蔵王温泉スキー場 竜山ゲレンデ・ジャンプ台周辺
問合 山形市スキー連盟(岩城) TEL 090-2279-1252

「遊ぶ」「滑る」「食べる」をテーマに、
蔵王温泉スキー場を、家族でまるごと
楽しめるイベントを開催いたします!
※詳細が決定次第「山形市スポーツ協会HP」等で
お知らせいたします。

生活困窮に係る「年末生活電話相談」の実施について

昨今の物価高騰等による市民の日常生活への影響を踏まえ、生活に不安を抱える方が少しでも安心して年越しができるよう、電話による生活相談を実施します。

1 実施日時

令和7年12月29日（月）、30日（火）
両日とも午前9時から午後3時まで

2 実施方法

生活支援課の職員（29日、30日両日とも3名）が市民からの生活困窮に関する電話相談を受け、相談内容に応じて対応します。
(電話番号は、市役所代表番号023-641-1212)

3 内容

生活困窮者からの生活に関する相談を受け付けるとともに、相談内容に応じて、フードバンクを活用した食糧支援を実施します。

なお、離職等により住居を失うおそれがある方に対して家賃相当額を支給する「住居確保保給付金」や、低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで臨時に生活費が必要となった方への「生活福祉資金」の相談等は、山形市社会福祉協議会と連携して対応します。

4 周知方法

広報やまがた（12月15日号）及び山形市公式ホームページにて周知します。あわせてチラシを作成し、公民館やコミュニティセンター、山形市社会福祉協議会に設置を依頼します。



▲山形市公式ホームページ

5 その他

年末生活電話相談実施日時以外の市役所閉庁時に、緊急対応を要する事案が発生した場合、生活支援課職員（当番制）が守衛からの電話連絡を受け対応します。

問い合わせ先

福祉推進部生活支援課保護第三係

TEL023-641-1212 内593

経済的な理由により、生活に不安を抱える方を対象とした「年末生活電話相談」を実施します

〈日 時〉

令和7年12月29日(月)・30日(火)

両日とも午前9時から午後3時まで

◎生活困窮に関する相談を電話で受け付けます

〈電話番号〉

市役所代表番号(TEL:023-641-1212)



【お問い合わせ先】

山形市役所生活支援課

TEL 023-641-1212(内線 592・593・654)

年末における事業者金融支援等の実施について

市内事業者の年末年始の資金需要に対応するため、山形市融資制度を取り扱う金融機関からの融資認定申請等を受け付けるとともに、市内事業者向けに資金繰りに関する相談窓口を開設します。

1 実施日時

令和7年12月29日（月）・30日（火）午前10時～午後3時

※金融機関の営業日にあわせて実施

2 実施場所

山形市役所6階 産業政策課

3 内容

（1）セーフティネット保証の認定及び山形市融資制度等の申請を受付し、認定書等を発行する。

＜認定申請項目＞

- ・セーフティネット保証認定5号
- ・山形市融資制度認定（産業振興資金、経営支援資金、中心市街地活性化支援資金、特定創業支援資金、工場等集団化経営安定資金）
- ・小額融資保証制度利用あっせん（意見）書

（2）山形市融資制度の説明や相談内容に応じた関係機関の紹介等を行う。

- ・やまがた産業支援機構（経営相談）
- ・各金融機関、山形県信用保証協会（資金繰り等相談）

4 その他

山形市公式ホームページへ掲載するほか、金融機関、山形県信用保証協会へ周知します。



◀山形市公式ホームページ

問い合わせ先

商工観光部産業政策課企業支援係

TEL 023-641-1212

内416